

【電気配線工事について】

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 当製品にはLED100V照明が内蔵されています。照明用電線はWFΦ1.6またはΦ2.0の3芯単線（アース線）をご使用ください。
- 照明用電線とインターホン配線は電線管（屋外用可とう電線管）を使用し隔離してください。

①付属品の確認

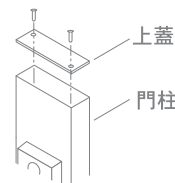
【付属品】

- 本書（取付・取扱説明書）：1枚
- 取付用Φ4×L8 SUSトラスタッピングビス：3本

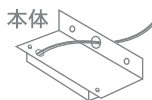
②上蓋の取り外し

門柱の上蓋のネジを外し、上蓋を取り外します。

※外した上蓋、ネジは使用しません。



③本体（LEDが固定された板金）の取り付け

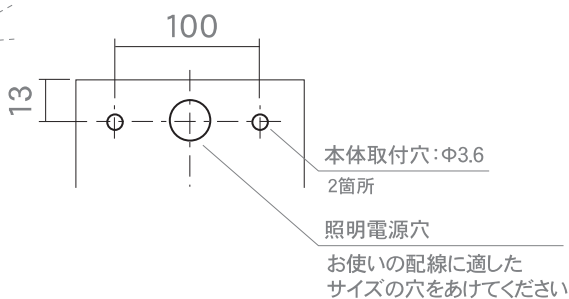
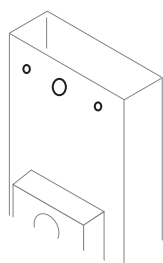


本体取付穴、照明電源穴をあけ、付属のビスで本体を固定します。

穴加工

【道路側：門柱上端】

【穴加工位置】正面図

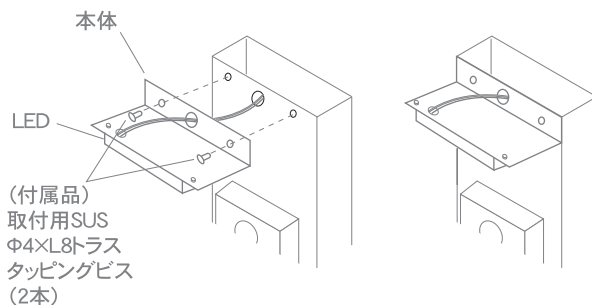


本体取付穴：Φ3.6
2箇所

照明電源穴
お使いの配線に適した
サイズの穴をあけてください

本体の取り付け

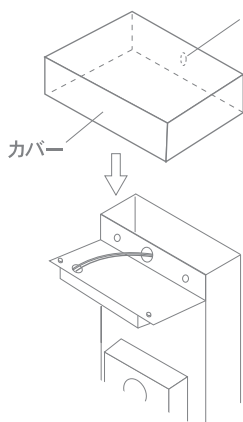
左記で加工した下穴に付属のビスで本体を固定します。
電源穴に配線を通し、門柱内部で結線してください。



④カバーの取り付け

穴加工

カバーをかぶせ取付穴位置をマーキングし、取付穴をあけます。

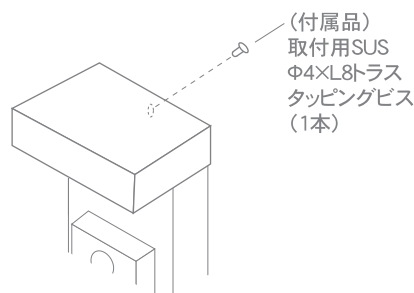


【注意】
穴がある方が背面

カバー取付穴：Φ3.6
穴位置をマーキングし
穴をあけてください。

カバーの取り付け

左記で加工した下穴に付属のビスでカバーを固定します。



（付属品）
取付用SUS
Φ4×L8トラ
スタッピング
ビス
（1本）

～施工後にご確認ください～

・照明が正常に点灯するかご確認ください。

↓裏面もご確認ください。

お問い合わせ・ご意見は下記へご連絡ください。

100V

・KLED 1-S (シルバー) ・KLED 1-B (ブラック)

取付・取扱説明書

商品施工に関しては、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いいたします。

安全にお使い
いただくために

当書に書かれた内容は、危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお守りください。当書の内容から逸脱した行為による不具合や事故の発生については、責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告 | 誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 当製品は交流 100V を使用します。接続には有資格者による電気工事が必要になります。
- お客様自身で分解、改造は絶対にしないでください。 ●布や紙など、燃えやすいものをかぶせないでください。
- 当製品は屋外用照明器具ですが、冠水の恐れのある場所、くぼ地など水のたまる場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。このような場所で使用すると火災、感電、不点灯などの故障の原因となります。
- 電源線が傷んだ状態では使用しないでください。
- 異常時は電源スイッチを切ってください。(煙が出たり、異臭がしたら、すぐにスイッチを切ってください)
- 金属やゴミを差し込まないでください。(器具の隙間などにヘアピンや針金、可燃物を差し込まないでください)

⚠ 注意 | 誤った取り扱いをすると、軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

- 当製品は電気製品であり永久には使用できません。 ●当製品を施工する場合は、メンテナンスを考慮した施工を行ってください。
- 強い振動、衝撃のある場所で使用しないでください。 ●引火する危険のある場所で使用しないでください。
- 高圧洗浄機で洗浄しないでください。 ●長期間使用しない場合は電源スイッチを切ってください。
- コードを無理に引っ張らないでください。 ●給湯器、空調機器の排気が直接、製品に当たらないように施工してください。
- 殺虫剤や苛性ソーダ、塩酸などの薬品を製品にかけないでください。
- 製品に物を載せたり、寄りかかったりするなど、荷重をかけないでください。
- 付属部品の取り付けの際、締めすぎにご注意ください。電動ドライバーをご使用の際は、低速回転で締め付けるか、手締めで行ってください。
- 商品が破損した場合は、すぐに電源を切り使用をやめ、施工店に連絡してください。

お手入れ方法 | 安全に美しくご使用いただくために、定期的なメンテナンスをお願いいたします。

- ・長年ご使用いただくとネジ、ボルト類がゆるむことがありますので、締め直しをお願いします。
- ・汚れた場合は、ほこりや土を取り除き、柔らかい布やスポンジで水洗いした後に乾拭きしてください。
- ・落ちにくい汚れの場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、柔らかい布やスポンジで汚れを落としてください。その後に洗剤が残らないよう十分に水で洗い流して乾拭きしてください。
- ・塩害(潮風に含まれる塩分による被害)・酸性雨、排気ガス、新築完成後の洗浄剤、その他の要因により、まれにもらい錆が発生する場合がございます。特に台風の後には内陸部でも塩害によるもらい錆が発生しやすくなりますので、天候回復次第、速やかにお拭き取りください。

↓ 裏面もご確認ください。